発行月：平成 26 年 8 月

# 家族新聞

第 336 号

# 環境教育「まず、今できることから」

## 歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
編集者：代表幹事 髙橋賢一
連絡先：市民活動支援センター
尾張旭市渋川町三丁目5番地7
（渋川福祉センター内）
TEL 0561-51-2878

## 東京大学生態水文学研究所水生昆虫の採訪。ありがとう。

平成19年から現在に至るまで8年間水生昆虫の採訪実習に参加させていただきました。非常に子供達の興味をそそり子供達は夏休みになるとワクワクしてこの東京大学演習林に入るのをたのしみにしている人が大勢いました。

今年は小学生も卒業しホッドしている時です。そんな時に最後の奉仕活動として保育園の先生に次世代の子供達にも是非見せておきたかったこの場所を招待しました。この体験は各先生の頭に一生残ると思います。この場所でカワゲラ、オナシカワゲラ、サワガニ、ヨシノボリ顕微鏡で視た昆虫の姿、もう見られないと思います。このみなさんの姿は本当の子供達に教育を教える姿です。これが本当の教育です。

保育園の先生参加ありがとうございました。昼のお弁当、プリンどうでしたか。て、「味の風景に書きます。」

▲僕にも見せて…

8月下旬の中日新聞に掲載された記事。名古屋、戦前から都市温暖化」瀬戸と比較、東大研究所が実証。都市部の気温が周辺の地域より高くなるヒートアイランド現象が名古屋市では一九三五（昭和十年）に既に起きていたことが瀬戸市の東京大演習林生態水文学研究所の研究で分かった。

◀サワガニがとれました。

▶ここの水の透視度1m 水のCODは0度でした。